

令和5年産夢つくし

(5月13日播種)
(6月5日移植)

栽培暦

北九州普及指導センター
J A 北 九

月別	5			6			7			8			9				
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬		
水管理																	
生育ステージ及び薬剤使用時期																	
管理のポイント	<p>丈夫な稲作に</p> <p>良食味対策に けい酸加里 40 kg</p> <p>基肥 バスト444 30 kg</p> <p>移植 深植防止</p> <p>補植苗の除去</p> <p>中干し 溝切り</p> <p>良食味対策に けい酸加里 20 kg</p> <p>穂肥 きたきゅう 30 kg 水稲用追肥 3 mm</p> <p>最も水が必要な時期</p> <p>アツミンの投入 40 kg 又は 堆肥投入 2 t 土壌改良材の散布 ○土づくり</p> <p>○収穫後早めの耕起 (ヒメトビウソ対策) ○落水はなるべく遅く</p>																
病害虫	<p>ばか苗病</p> <p>いもち病</p> <p>ごま葉枯れ病</p> <p>シンガレセンチュウ</p> <p>苗立枯病</p> <p>白カビ</p> <p>イネミズゾウムシ</p> <p>葉いもち・ウンカ</p> <p>スクミリンゴカイ (ジャンボタニシ)</p> <p>葉いもち</p> <p>ウンカ類</p> <p>綿葉枯病</p> <p>コブノメイガ</p> <p>ウンカ類</p> <p>穂首いもち</p> <p>紋枯病</p> <p>カメムシ</p> <p>ウンカ類</p> <p>《栽培注意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 夢つくしはいもち病に弱いので、いもち病の常発地や野菜後等での栽培は避ける。 ☆ 早植は、高温障害により品質低下となるので避ける。 ☆ 倒れやすい傾向にあるので、過剰施肥にならないよう注意する。 																
重点防除農薬	<p>箱剤</p> <p>フルスロツトル箱粒剤</p> <p>防人箱粒剤</p> <p>サラブレッドKAIジャンボ</p> <p>ワイニングランジャンボ</p> <p>サラブレッドKAIフロアブル</p> <p>ガンガン1キログラム</p> <p>アピログロウMX1キログラム</p> <p>※移植後落水・田面の均一化</p> <p>※発生バターンにより補正防除</p> <p>※多発時以外は開花期の散布を避ける</p> <p>補正①</p> <p>いもち剤</p> <p>補正②</p> <p>ウンカ剤</p> <p>必須①</p> <p>粉</p> <p>ダブルカットバリダフロアブル</p> <p>液</p> <p>トレボンEW</p> <p>必須②</p> <p>カメムシ剤</p> <p>アルバリン顆粒水溶剤</p> <p>アルバリン粉剤DL</p> <p>スタークル豆つが</p> <p>※出穂後の畦畔除草はしない</p> <p>《防除注意点》</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆ 稲の開花期防除については、ミツバチの影響が考えられますので、開花直前から開花後2週間は農薬の散布を避けましょう。 ☆ 散布時期 <ul style="list-style-type: none"> ・ 必須①は、出穂前散布 ・ 必須②は、穂揃い期から10日後を目安に散布 ・ 補正①・②については発生時や多発が予想される際に散布。 <p>※農薬散布時のドリフトに注意！！</p>																
※減農薬成分数	③	④		④	②	③	③			②	②	①	①	③	①	①	①

※減・減栽培夢つくしについては、別途、栽培基準作成